

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立夕日寺小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒920-0822
石川県金沢市東長江町に17番地

E-mail : yuuhidera-e@kanazawa-city.ed.jp
 Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/yuuhidera-e
 児童生徒数：男子 158名 女子 140名 合計 298名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (キャリア教育)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1年生(生活科)

みんな大好き～自然・人・ものとのつながり～



一人一鉢でアサガオを育て、学年園ではマリーゴールドやおしろいばな等、畑ではさつまいもを育てた。植物の成長の様子を継続的に観察し、押し花遊びやリース作り、種ブローチ作りを楽しみ、さつまいもは、調理して収穫を喜び合った。水やりや草むしり等、自然との関わりを通して、自然の美しさや不思議さを感じることができた。

年長さんを迎える会では、「学校生活を楽しみにきてほしい」という願いのもと、1年生としての成長を見せようと準備を進めた。年長児のお世話をする中で、小さい子を思いやる心を持つことができた。

2年生(生活科)

みんな大好き～自然・人・ものとのつながり～



一人一鉢でミニトマトを育て、学年園では綿や百日草、千日紅、フウセンカズラ等、畑では、オクラ、えだまめ、落花生、カボチャ等を育てた。暑い中、みんなで協力しての水やりや草むしりは大変だったが、それぞれの成長の仕方や実のなり方、種の違いに驚き、成長の変化に興味をもって観察したり、お世話したりすることができた。

秋には大根の種をまき、収穫後めった汁を作った。種を取ったり、初めて自分たちで育てた野菜を収穫したりして、自然のサイクルや恵みを実感していた。また、夕日寺自然園では、ざりがに釣りをして学校でお世話して育て、身近な場所でたくさんの生き物が息づいていることを知ることができた。

3年生(総合的な学習の時間)

自然とのつながり～森と生き物・人とのつながり～



〈なぜ森の木はお世話をしなくても枯れないのか〉を課題としてスタートした。いしかわ自然体験支援隊の方をお呼びし、森にはどんな働きがあるか詳しく教えて頂いた。また、実際に校区内の森へ行き、森に生えていた草や木を使い、ひみつ基地やブランコなどの遊び道具を作る活動を行った。秋の集会では、自分達が学んだことを全校児童に発信した。

これらの体験を通して、森は人と深く関わり合っている事を実感することができた。

4年生(総合的な学習の時間)

未来の地球を考えよう～もったいない(3R活動)

社会科の学習やごみ処理施設の見学を通して

「ごみを減らさなければならぬ」と思い、自分たちができることは何かをみんなで考えた。家族に聞いたり、インターネットや本で調べたりしたことをまとめ、千坂小学校の4年生と交流し合った。

自分たちが調べたことが分かりやすく伝わるように、模造紙にまとめたり、実物を使ったりして発表していた。相手に伝わる喜びとともに、自分たちが見つけた方法だけでなく、他にも、衣類のリユースやリサイクル、ごみの少ないクッキングなどまだまだできることがあることを知り、さらにごみを減らす努力をしていこうという気持ちが高まった。

5年生(総合的な学習の時間)

自然とつながろう～野菜を育てよう～



自分たちが住む、金沢市が誇るたくさんの加賀野菜。これまでに名前を聞いたことがあったり給食で食べたことがあったりしたものの、自分たちの手で育てたことがない児童が多かった。そこで、加賀野菜の特徴や育て方について調べ学習を行い、金時草や五郎島金時、打木赤皮甘栗かぼちゃ等、実際に苗植えから収穫までを行った。

連日の水やりや夏の暑い日の草むしりを通して、植物の命の尊さや植物を育てることの難しさを感じていた。また、実際に自分たちが作った野菜を食べることで、加賀野菜の持つ魅力と作り手の思いを感じ、大切に食べようとする心が育まれた。

6年生(総合的な学習の時間)

いのちあふれるビオトープ作りと自分の生き方について考える



ビオトープは、毎年6年生が地域や保護者の方々の協力を頂きながら整備してきている。今年度も「行きたくなるようなビオトープにしよう」というめあてに向かって植栽、池の泥上げ、繁茂する植物の調整、観察路作り等を行ってきた。児童は自然の大切さや恵み、保全の難しさを感じるとともに、地域や保護者の方々の支えや協力を感じていた。

また、後期には、元プロサッカー選手や医師等から生き方についてのお話を聞き、自分の目標や夢を達成するには今後どのようなことを心がけて学習・生活していかなければならないのかなどを学んだ。

児童会



児童会では常時活動として、あいさつ運動やエコキャッププルタブ集めを実施した。そのことにより自分の行いや協力で人を支えることができることを知った。

今年度は小中一貫教育における活動の活

性化を目指すということで、児童会と生徒会の交流会議を行ったり、卒業生を招いてのあいさつ運動を実施したりした。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ 日曜日に親子ビオトープ作業を2回実施 ）